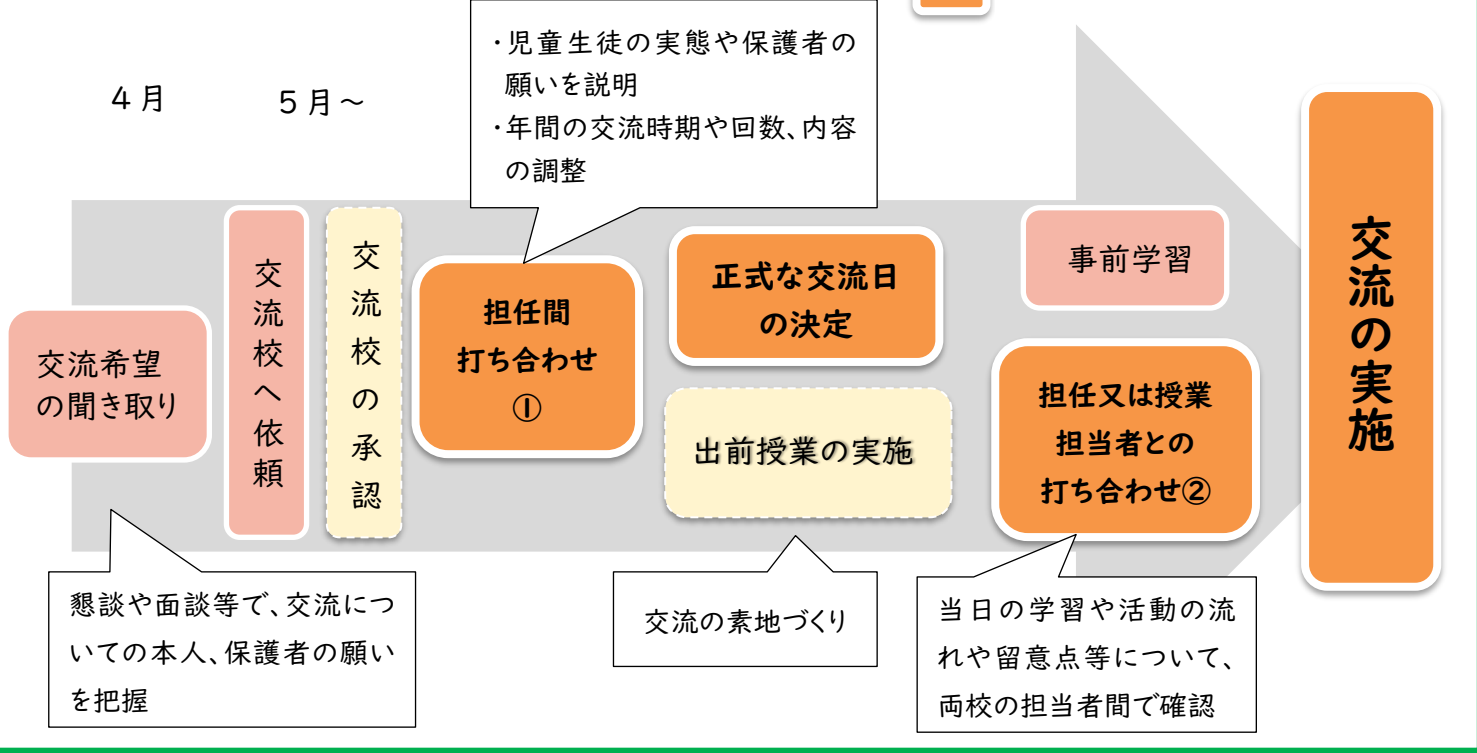


居住地校における交流及び共同学習

【交流実施までの流れ】



交流及び共同学習

～共に育ち 共に学ぶ～



障害理解授業

○交流校児童生徒の障害理解の段階に応じた授業を交流校の担当者と検討し、一緒に授業を実施

【授業内容例】

- ①かづの校、かづの校の児童生徒について
- ②障害に関する正しい知識や理解、適切な支援方法について
- ③体験、演習（障害のある児童生徒の立場に立って）

小・中学生にも分かりやすいように演習を交えながら授業をします。

○交流の事前学習以外でも学校のニーズに合わせて障害理解に関する授業内容を検討し、一緒に実施



障害理解授業に合わせて「かづの校ミニ学校展」も予定しています

学年	単元名
小1	自分とは違ういろいろな人がいるよ
小2	ゆっくりタイプ(知的障害)の人がいるよ
小3	見えない・見えにくい人(視覚障害)について知ろう
小4	聞こえない・聞こえにくい人(聴覚障害)について知ろう
小5	車いすを使用している人について知ろう
小6	いろいろな困り感のある人(発達障害)について知ろう①
中1	いろいろな困り感のある人(発達障害)について知ろう②
中2	心のバリアフリー～知らないという障害をなくそう～
中3	共生社会の実現を目指して～多様性を認め、互いに尊重し合おう～

障害理解に関する授業計画案

～いっしょに まなぼう ふれあおう～



【問い合わせ先】 秋田県立比内支援学校かづの校

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字案内2

TEL:0186(22)0253 0186(22)2631

FAX:0186(30)1245 E-mail: kazuno-s@akita-pref.ed.jp

副校長 加藤 宏和 地域支援部主任 能登谷 可子(のとや よしこ)

交流及び共同学習の意義

参考資料:「交流及び共同学習にかかるガイド～共に育ち 共に学ぶ～(改訂版)」
令和7年3月 秋田県教育委員会

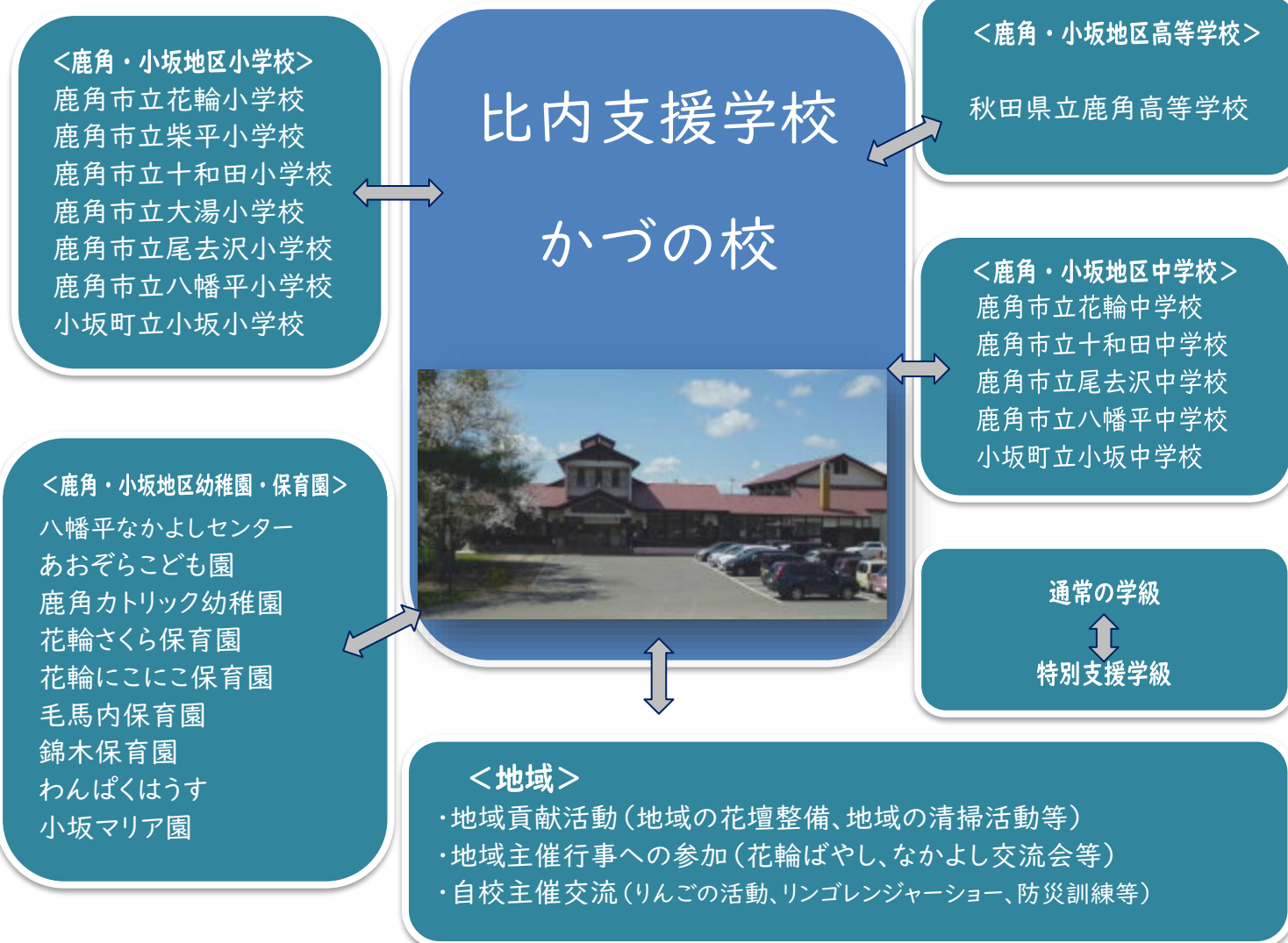
各学校(園)が行う、障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒、あるいは地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する交流及び共同学習は、どちらにとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有するものです。

交流及び共同学習の目的

交流及び共同学習は、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面があり、この2つの側面を分かちがたいものとして捉え、推進していく必要があります。

交流及び共同学習の主な形態

さまざまな交流及び共同学習



● 学校間における交流

<花輪さくら保育園>
運動会、ゲーム交流

<花輪小学校3年生>
ゲーム交流

<柴平小学校特別支援学級>
学校探検、ゲーム交流

<小坂中学校・花輪中学校1年生>
ボッチャ交流、花輪ばやし

<鹿角高校>
産業工学科との交流



● 地域の人々との交流

<りんごの活動>
花摘み、袋がけ、袋はがし、収穫

<リンゴレンジャーショー>
小学校、コモッセ等での公演

<花輪ばやし>
横丁との花輪ばやし交流

<アップルロードレース、体育>
浅利純子さんとのマラソン交流

<花いっぱい運動>
花輪商店街、花輪サービスエリア
の花壇整備等

<地域の清掃活動等>
まちなかオフィス、花輪商店街

<その他>
大湯チューリップ畑の作業等

